

令和 6 年
第 4 回 大 仙 市 議 会 定 例 会

一 般 質 問

(令和 6 年 1 2 月 9 日 ・ 1 0 日)

大 仙 市 議 会

【 一 般 質 問 者 】

◆ 1 2 月 9 日 (月)

- ① 佐 藤 育 男 議員 (大 地 の 会)
- ② 佐 藤 芳 雄 議員 (だ い せ ん の 会)
- ③ 秩 父 博 樹 議員 (公 明 党)
- ④ 安 達 成 年 議員 (大 地 の 会)
- ⑤ 小笠原 昌 作 議員 (新 政 会)

◆ 1 2 月 1 0 日 (火)

- ① 佐 藤 文 子 議員 (日 本 共 産 党)
- ② 挽 野 利 恵 議員 (公 明 党)
- ③ 青 柳 友 哉 議員 (大 地 の 会)
- ④ 戸 嶋 貴 美 子 議員 (だ い せ ん の 会)

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	これまでの手応えや所感、そして次期市長選に対する老松市長のお考えについて	① 老松市長は、初当選された平成29年から変わらず、「大仙市のすべての地域をすみずみまで元気にしたい」、そして「市民の皆様が住み良さを実感し、将来に希望が持てるより良いまちにしたい」という信念のもと、強い決意と覚悟で、市民のため、そして大仙市全体の発展のために、誠心誠意、全力で市政運営に取り組まれ、市民からも高く評価されているが、これまでの手応えや所感、そして次期市長選に対する老松市長のお考えについて伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年11月25日

大仙市議会議員 佐藤 育 男

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	物価高騰などの影響を受けている事業者に対する支援について	① 燃料、原材料の高騰、電気料金の値上がり、急激な円安や最低賃金の引上げ等、経営コストの上昇に苦しむ中、地域の中小・小規模事業が長期的に安定して経営できるような断続的な支援をお願いいたします。
2	災害に強いまちづくりの推進と事業継続支援について	① 昨今多発する大雨により、市内各地で住宅・店舗への浸水、道路の冠水による交通障害などが発生し、市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしております。県の制度とは別に、自家発電装置や防災用品、救助用品などを配備するための市独自の助成制度の導入をお願いいたします。
3	食品製造・加工事業者と一次生産者とのマッチング及び新たな販路開拓支援について	① 大仙市の豊富な農畜産物を活用した食品の開発及び製造販売は、生産者と製造・加工事業者の双方にとって大変重要であることから、行政や農業団体等の担当窓口を横断した連携や情報交換を積極的に推進するなど、製造加工事業者と生産者のマッチングを積極的に支援くださいますようお願いいたします。
答弁を求めるもの		市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年11月25日

大仙市議会議員 佐藤 芳雄

大仙市議会議長 古谷 武美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	体育館への空調設置について	① 大きな財源が必要ということが、設置が進まない要因となっている状況と認識しているが、「補助メニューの強化」が国側から示された際には、設置に向け取り組んでいただきたいがどうか。
2	G I G Aスクール端末の更新について	① 来年度以降、何台程度を新端末に買い替え、旧端末を処分する必要があるのか伺う。 ② 本市を含む収集区域における小型家電リサイクル法の認定事業者数を明らかにするとともに、環境省通知に基づく市長部局と教育委員会の連携への認識と取り組みについて伺う。 ③ 今後編成される2025年度（令和7年度）予算においても、市長部局と教育委員会がそれぞれの縦割りに陥ることなく適切に連携し、適法な認定事業者への委託及びデータ消去等に必要な予算措置を行うことが不可欠であると考えているがどうか。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年11月28日

大仙市議会議員 秩 父 博 樹

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	予防接種費への助成拡充について	① 子育て支援策の一環として任意インフルエンザ予防接種費及びおたふくかぜ接種費について全額助成できないのか市の見解を伺う。 【対象者】 ・インフル：（生後6か月～18歳年度末まで） ・おたふくかぜ：（市の推奨年齢者） ② 高齢者の支援として75歳以上の高齢者にインフルエンザの予防接種費への半額助成についても市の見解を伺う。
2	大仙市エコドライブ選手権の検証と今後の方向性について	① エコドライブ選手権を開催しての検証と成果について市の見解を伺う。 ② 交通安全意識の向上や脱炭素社会の意識啓発のためにも、市が先頭に立って車載器の公用車への取り付け、また、市民にも配布するなど先端技術を活用した安全・安心なまちづくりの取り組みを今後も継続して進めるべきと思うが市の見解を伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年12月2日

大仙市議会議員 安 達 成 年

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	人手不足の解消について	① 人口減少による人手不足が社会の深刻な大問題となっています。特にコロナ発生時から多くの職種で四苦八苦しており、離職退職が増えている中で大仙市内の現況と人手不足の解消について関係団体や企業とどのように連携を図り、取り組んでいるかお伺いします。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年12月3日

大仙市議会議員 小笠原 昌 作

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	原油・物価高騰対策について 1) 灯油購入助成について 2) 消費者米価高騰対策について	① 今年度も灯油購入助成を実施するとともに、住民税均等割のみ課税世帯を対象に加え、支給額を1世帯当たり1万円に引き上げることを願うが、いかがか。 ② 暮らしの必需品に関する物価高騰が続く中、とりわけ米価高騰により、家計のほか、事業所経営等においても深刻な影響を受けていると思われる。これらの影響に関する実態調査が必要と考えるが、見解を求める。
2	介護保険利用状況 介護予防日常生活支援サービス事業について 1) 介護保険利用状況 2) 介護予防・生活支援サービス事業について	① 高齢者人口や要介護認定者数の減少率と比較して、介護保険サービスのうち、訪問介護やデイサービス等の利用者数の減少率が大きなものとなっている。何らかの理由で利用控えが生じているものと考えるが、現状への認識と課題・対策について見解を伺う。 ② 介護予防・生活支援サービス事業を始めとする総合事業は、開始から7年が経過したが、当該事業に対する評価と課題・対策について見解を伺う。
3	国保税子ども均等割減免 18歳までの拡大について	① 国保加入者で18歳年度末までの国保税均等割を減免するよう求める質問を繰り返し行ってきたが、改めて要望する。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年12月3日

大仙市議会議員 佐 藤 文 子

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	学校林について	① 本市において学校林を有する学校は何校あり、その所有形態はどのようなになっているか伺う。 ② 学校林の維持管理について、本市教育委員会はどのように認識されているか、また現状の取組や今後の計画などがあるか伺う。
2	乳がん検診と子宮頸 ^{けい} がん予防ワクチンについて	① 乳がん検診の選択の一つとして、無痛MRI乳がん検診を加えてはいかがか。また、その検査に対しての補助ができないか伺う。 ② 子宮頸がん予防ワクチンのキャッチアップ接種者の増加に伴い、HPVワクチンの限定出荷が行われているため、期間中に接種を希望される方が接種機会を逃さないよう、期間終了後も公費で3回の接種を完了できるよう経過措置が設けられた。このことについて、市民に対し速やかに情報提供を行うべきではないか伺う。
答弁を求めるもの		市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年12月3日

大仙市議会議員 挽 野 利 恵

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	小中学校における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について	① 『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』（令和3年1月26日中央教育審議会。）に対する取り組み状況について伺う。 ② 小中学校における教育の充実、児童生徒本人の成長や幸福に寄与するだけでなく、当市の少子高齢化対策にも大きくプラスになると考えられるため、積極的に進められるべきと考えるがいかがか。 ③ 特認校制の活用も視野に入れつつ、最新の学習指導要領や中央教育審議会答申への対応をいち早く試行すると共に地域に根ざした大仙らしい学校教育を模索していく、モデル校の設置を検討してはどうか。
2	公民連携窓口の設置について	① 企業・大学・研究機関等（以下、事業者と言う。）から、事業者が持つアイデアや技術等を活かして市の課題の解決と市の魅力向上を図る提案を受け付けるために、市が考える課題を明確にして公表してはどうか。 ② 事業者からの提案を一元的に受け付け、適切に担当部署に繋げる窓口を設置してはどうか。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年12月3日

大仙市議会議員 青 柳 友 哉

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様

一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	市営住宅を復活させるには	① 自分で希望した市営住宅の場所が通らなかった場合、その理由を説明されているか。 ② 市内在住の連帯保証人が必要、とあるが緩和してはどうか伺う。 ③ クレジットカード払いの対応をしている自治体もあるが本市も活用してはどうか。 ④ 本市の市営住宅のバリアフリーとは、どこまでを指しているのか伺う。 ⑤ 退去の際、個人が手すり等を設置した場合、すべてのものを撤去するということが条件か、その都度検討できるものか伺う。 ⑥ ペットを飼うことを全面禁止しているが、その条件緩和を一部の市営住宅にあってもよいのではないか伺う。 ⑦ 岡山県奈義町での施策を本市でも取り入れる考えはあるのか伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和6年12月3日

大仙市議会議員 戸 嶋 貴美子

大仙市議会議長 古 谷 武 美 様